

# 立神峡里地公園だより

## 活動報告 森のようちえん”りとろ”だより

8月の森のようちえんはお休みでしたが、立神峡で行われた様々なイベントに参加していただきました。これから、秋から冬へと移り変わる森を楽しんでいく予定です。

また、ふくろう館の子育て支援ルームには、絵本や木のおもちゃがあります。育児中のお友達同士で遊びに来てみてはいかがでしょうか！

◎子育て支援ルーム開放時間：木・土・日 10:00～16:00



▲体験会の様子

### 【ステンドグラス入門体験】

8月25日に行い、5組10人が参加されました。立神峡のゆったりとした時間の中で、大人も子供も自分だけの光と色のハーモニーをステンドグラスで表現しました。



▲みんなでがんばりました

### 【大道芸人ぼびーがやってきた!】

8月27日～29日の3日間、大道芸人“ぼびー”による大道芸が行われました。

バルーンアートや手品、不安定な板の上でジャグリングなど、子供から大人まで楽しめる内容が盛りだくさんのステージでした。



▲ビックリドッキリの大技に常葉保育所の子どもたちも大喜び!

### 【森のおさんぽ会参加者募集】

期日 ①10月12日(水) ②10月15日(土)  
 時間 10時～11時30分頃まで  
 対象 幼児を含む親子(各回10組程度)  
 参加費 1組(親子)1,000円(3人目から1人200円)  
 場所 ふくろう館集合

お申し込み・お問い合わせ先 立神峡公園管理棟 ☎62-1543  
 ※今回は、虫眼鏡を使い普段は気づかない小さな小さな世界をのぞいてみたいと思います。



内容についての詳しいお問い合わせ・お申し込みの受付先  
**立神峡公園管理棟 担当：東 ☎62-1543**



■十三夜：10月9日(日)

昔に習い、月見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

十五夜は皆さんご存知だと思いますが、「十三夜」はご存知でしょうか。日本では、古くから十五夜と十三夜の二つの月見が行われていました。

## 十三夜

今暮らし、里山暮らし、  
 ⑩



# グリーンツーリズムだより



## もち米の学校

2011  
 (かかし作り)

8月21日、もち米の学校の環境で、「かかし作り」が行われ、県内各地から4組10人が参加しました。  
 参加者は、ひかわツーリズムクラブ谷口さんの木工所で作業を行い、先生の話を聞きながら、準備してあった木材を組み立てたり、家から持ってきた服を着せたりして、個性的なかかしが出来上がっていました。  
 完成したかかしは、野津の線路沿いにあるもち米の学校の田んぼに設置しています。  
 通りかかった際はご覧ください。



## 梨狩り&マフィン作り

8月28日、梨狩りとマフィン作りを行いました。  
 まず、本田隆雄さんの梨園で梨狩りを体験した後、場所を氷川町公民館に移してマフィン作りを行いました。  
 先生には、フードグランプリや料理コンテストなどの賞を多数受賞され、「くまもとふるさと食の名人」にも選ばれている河野京子さんを招きました。  
 参加者の皆さんは、河野さんから指導を受けながら、おいしいそんなマフィンが出来上がっていました。



# 農業委員会だより

## 新規就農者を紹介します

氷川町には今年、7人の新規就農者が誕生しました。今回は、8月24日に開催された新規就農者激励会に出席された5人の方に、次の質問にお答えいただきました。

- ①作っている作物はなんですか？
- ②就農しようと思ったきっかけはなんですか？
- ③将来の目標を教えてください。

**起田 輝男さん(北野津)**  
 ①キャベツ等露地野菜  
 ②昨年16年間勤めた会社を辞め、今までの仕事を生かした農業を行いたいと思った。  
 ③今後検討していきます。

**作村 俊哉さん(立神)**  
 ①梨・晩白柚・みかん・デコポン  
 ②果樹に魅力があった。  
 ③考え中。

**窪田 大朗さん(若洲)**  
 ①アスパラガス  
 ②小さい時から手伝ってきた中で、農業はきつい、汚いなど初めは思っていたの

に、気付いた時には農業ですごく楽しいと思つた自分がいたのが、農業をやろうと思つたきっかけです。  
 ③経営面積を今の倍に広げて、多くの作物を作りたいです。

**澤永 真史さん(若洲)**  
 ①キャベツ・麦・米  
 ②祖父の代から築いてきたものを守っていきたくて思つたから。  
 ③自分の次の世代が農業をやりたいと思つてくれるような農業経営をやりたい。



▲前列左から窪田さん、釜さん、澤永さん、作村さん  
 後列左から清田農業委員会会長、県農業普及・振興課永田課長、起田さん、藤本町長